

余野小学校だより

令和2年
10月号

夏椿

学校教育目標

「やさしく かしく たくましく」
自ら考え、生き生きと活動する
心豊かな子どもの育成

「今の自分が未来の自分を創る」 目標 × 努力 × 継続 = 夢

「勇猛果敢」に運動会



9月20日（日）に余野地区連合運動会を開催しました。コロナ禍の中ではありますが、地域の皆様とともに運動会を開催できたことは、たいへんうれしいことです。

「勇猛果敢」のスローガンのもと、子どもたちは練習してきた成果をしっかりと出すことができました。子ども達のがんばりを保護者・地域の皆様に見ていただくとともに、地域とのつながりをしっかり感じた運動会でもありました。



「私まで涙がでそうになりました」

運動会の一輪車演技が終わった後、教頭先生は退場門から出てくる子どもたちを見守っていました。技をやりきり笑顔をはじけさせる子どもたちの中で、一人の子が教頭先生の目をひきました。目をうるませながら拳を固く握り「やったー、やったー。」と何度も何度も一人つぶやくその子は、まだ一輪車にうまく乗れなくて、5月ゴールデンウィークの頃から休日や休み時間に練習を重ねてきていました。

運動会の一輪車演技はどの子にとっても大きな目標になるとともに、プレッシャーにも

なっていたはずですが、それだけに、みんなで力を合わせて「風車」や「大車輪」の大技を成功させたことは、大きな達成感につながったことでしょう。

がんばった人だけが、がんばった後に味わうことのできる喜びを感じることができた子どもたちです。その経験は、これから壁にぶつかったとき、たとえ苦しくてもなんとか乗り越えていこうとするエネルギーになります。“**努力することの喜び**”を知ったのですから。

————— そして、一生懸命がんばる姿は、見る人の心をうつのでした。



さて、運動会休み明け9/24の昼休み、低学年の子が「校長先生、来てください。」というので、言われるままバックネット裏までついて行きました。すると「見てください。これだけ乗れるようになりました。」と、一輪車に乗る姿を見せてくれました。

周りには、その子だけでなく、低学年の子が全員集まって練習に励み、上学年の子らが見守っていました。

低学年の子どもたちにも、何かが伝わったのでしょうか。

君たちがレジェンドになれ！！ 卒業生のみんなへ



地域種目も、大いに盛り上がりました。かわいらしい姿や熟練の技などに、随所で大きな声援が送られました。余野小唄には、地域の文化を感じました。

卒業生の書道パフォーマンスも圧巻でした。いや～、かっこよかったです。その演技には、自分たちを見守り育ててくれた余野という地域への感謝や、自分たちに続けという後輩へのメッセージが込められているようでした。

卒業生の皆さん、これから先もずっとこのパフォーマンスが続くことを心より願っています。

そして、何年後か、中高生である皆さんが大人になって、今度は親としてこの運動会に参加するとき、

「このパフォーマンスは自分たちが始めたんだ。それが、ずっと続いているんだ。」と、誇らしく自分の子どもへ語る日がくることを……

10月の主な行事

7日(水)	5・6年真庭陸上記録会	22日(木)	5・6年箏学習
8日(木)	陸上記録会予備日	27日(火)	修学旅行保護者説明会
9日(金)	秋の遠足		5・6年箏学習
13日(火)	教育環境整備意見交換会	28日(水)	全校漢字定着確認テスト
	5・6年箏学習	29日(木)	5・6年箏学習
21日(水)	読書集会		

